

大きな建物等は

塗りがえの際も必要

景観条例&景観法の手続をお忘れなく

秦野市では、高さが10m(用途地域が商業地域、工業専用地域の場合は15m)を超える建物や延べ面積が1,000㎡を超える建物の建築行為または色彩を変更する行為等について、景観条例及び景観法の手続きが必要です。

該当する可能性がありますら、手続きの窓口(開発指導課(82)5123)まで御相談ください。



飾ったあとは食べられる

食べられるものの花で

庭先を飾ろう

見た目の派手さでは観賞用の花に負けるけれど、野菜や果物の花も庭先の演出に一役買いそうです。

そして何と言っても花を楽しむだけでなく、根や果実など、どこか食べられる部分がある、おトクな植物を御紹介します。



オクラの花



キュウリの花



サヤエンドウの花



ジャガイモの花



ナスの花



トマトの花

タテのカギ

① 夏の代表的な花。夏の太陽と青い空に、この黄色い花はともきれいに映えます。すぐれた考え、素晴らしい思いつき。グツグツドアイデア。

② 景観は年月と人々の営みにより創り出されていきます。誰かがやってくれて、すぐによくならない。〇〇〇〇はありませぬが、一人ひとりの景観への配慮です。きなまちなりになります。

⑤ 漢字で書くと「干支」。十干十二支から成り、古くから暦などで親しまれています。昔から引き継がれたもの、次の世代にも引き継ぎたいですね。ちなみに今年のはへび。

①	A	⑤	②
		③	
④	C		
		⑥	B

ヨコのカギ

① 遠慮気味にすること。これからの夏の季節、冷房の設定温度は〇〇〇〇に。建物などの色の彩度(鮮やかさ)も〇〇〇〇にすれば、山並みや周囲に調和します。

③ 屋根に降った雨水を受け止める働き者。〇〇も建物の色に合わせてスッキリ見えます。

④ 日本古来の美意識で、質素で静かなものを「〇〇・寂び」と表現します。

⑥ 口が3つで「シナ」、音読みすると「〇〇」。庭先なども演出次第で「上〇〇」な仕上がりになります。

あなたの好きな景観はどこ？

～季節の色を探しに行きませんか～
地域景観拠点編

梅雨の季節、なんとなく家に閉じこもりがちになっていたりしませんか。雨を受けて緑が茂りゆく今だからこそ見る事ができる色の景色もあることでしょう。この季節の色を楽しみに出かけてみませんか。

以下では、市内に28箇所ある地域景観拠点の一部を取り上げました。



冬の姿を忘れさせるような旺盛な木々。萌え出た柔らかな葉が日ごと青みを増し、緑陰の美しい姿になりました。真下から見上げるのはもちろん、遠目にもみずみずしい緑です。
(桜土手古墳公園)

梅雨の花、アジサイはナデシコとともに市の花。繊細な色合いがくもり空から注ぐ淡い光で引き立ちます。「鶴巻親水遊歩道」や「鶴巻あじさい散歩道」では地域の方の手により毎年たくさんの花をつけています。
(写真は鶴巻あじさい散歩道)



春に公園内各所で花を咲かせていた桜は、今鮮やかな緑の葉を広げています。晴れ間に水辺にのぞむと、勢いよく茂った草木と空とが水面に映る様を見ることができます。
(今泉名水桜公園)

※地域景観拠点は、本市の景観まちづくりの拠点となる景観資源を登録する制度です。秦野戸川公園の風の吊り橋、まほろば大橋など、現在28箇所が登録されています。

景観クロスワード

答えは秦野の景観キーワード

一人ひとりが身近なところから生活の仕方を改善し、景観に配慮することによって創られるより美しい生活環境や景観のことを、秦野市景観まちづくり条例ではこのように呼びます。

「せいかつ〇〇〇」

答えは下のクロスワードパズルを解いてABCに入る文字を並べ替えると出てきます。(ヒント:ひらがな3文字、(漢字にすると2文字)、漢字になって表面の中に登場している言葉です。)